

ヤマザクラ (2) さまざまな所で

藤原 道夫

京都の御所や離宮にヤマザクラと糸桜はあるが染井吉野がない。左近の桜はヤマザクラかその変異種。仙洞御所の州浜通り中ほどに「醒花亭の桜」とよばれるヤマザクラがあり、美しく咲いているのを何度か見た。それが5年前に訪ねた時に跡形もなくなっていた。惜しい！

桂離宮には2本の桜が新御殿前の雪見灯籠の傍にある。3年前に訪ねた時、それらは太い幹が切れ、脇から伸びている小枝にちらほら花が付くような状況だった。かつて後水尾上皇の御幸の宴に舞い込んできた花びらは、このあたりから飛んだか？

桜川市（茨城県）の公園や神社それに高峰の斜面にはヤマザクラが多くみられ、それらの一部は天然記念物になっている。ここは能「桜川」（世阿弥作）にも謡われており、東の吉野として知る人ぞ知る桜の名所だ。ただ不便な所にあり、見所も散在していて健脚でないと楽しめないだろう。磯辺桜川公園の看板に書いてあることが気になる。「白山桜が主だが、花の開く時期、花の色の濃淡と新芽の色、樹の形、香りの強さなどに違いがみられる・・・」様々な桜が混在して生えているようだ。山に自然に生えている桜を見れる所として貴重だ。

白河駅（福島県）の城側改札口を出て広場を斜めに突っ切ると、城址の入り口に達する。中に入って坂道を少し上ったところに1本のヤマザクラが立っている。伊達政宗が関東に上る折ここに立ち寄り、記念に植えたとか。若そうな木なので何代目かなのだろう。枝が上に伸びているので高さ7～8mの樹全体が箒状に見える。花付きもよく、薄茶色の新芽と相俟ってヤマザクラの特徴がよくでており、それが野面積みの石垣と白壁にマッチしている。これほど凛々しい桜は滅多に見ることができないだろう。

「ひとりで静かに楽しむ秘密の場所」にあるヤマザクラの写真が『日本の桜』（山と溪谷社）に載っている。花見は大勢で楽しむのもよいが、一人で思うまま見るのも乙なものだ。私にもそんな樹がある。植物園の中の離れた所にあり、花の時季でも見物人にあまり出あわない。大木ながら支えもなく、自然に伸びている姿もよい。

ヤマザクラの咲く原風景は、郷里の西会津の山村にある。雪が消えて芽吹きのを迎える頃、山の斜面の所々をぼうっと薄紅色の染めていた桜を懐かしく思い出す。

